

# 石見神楽をやる意味

石見神楽は約400年続いています。なぜそんなに続いているのでしょうか。それは、神にまつるからです。なので、

「神楽」というのです。  
「大元神楽」は次の2回のどちらかの年に行います。

- ① 丑巳酉 (4年ごと)
- ② 戌辰 (6年ごと)

また、神楽を民間でやる場所、時間も決まっています。

場所... 石見地方の神社  
時間... 夜

その時に使われる楽器もあります。4種類以上あります。その中で4種類はうかがいます。



石見神楽のみりょく  
石見神楽のみりょく  
♪ 速いまいのリズム

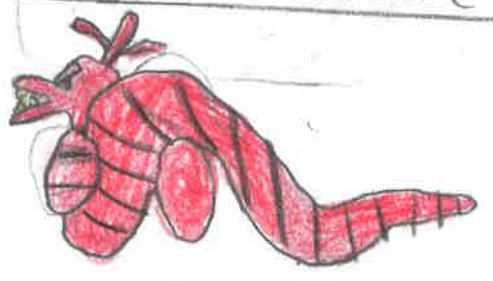
♪ 大きいまい  
神楽の種類は全てあわせると31種類あります。

神楽の木重類  
 ・おろち・えびす・じんり・てんじん・しょうき  
 ・いねと・はらまん・やまとたけるのみこと  
 ・ちがえい・かしま・よりまさ・じゅうら・やそがみ  
 ・ごじんなどがあります。

神楽面作りの方の思い



おたしは神楽面を作りはじめて40年近くがたちました。これからもっと良い面を作りたいし、石見神楽面の良さをみんなにつたえていきたいです。



# 神楽のおとくなく報

神楽の衣しょうの材料  
 ・木口紙  
 ・金の糸  
 ・銀の糸

## 神楽のお面の作り方

1. 石ころの型にねん土を入れ型を作る
2. 石ころの型からねん土の型をぬいて、型に木口紙をはる。
3. 固くなったねん土の型をこわして、目と鼻のあなをあける。
4. ごぶんという白いこなをぬる
5. 色や毛をつけて完成!!

## 大蛇の衣は蛇皮同様にしない

古くなった蛇皮同様にリサイクルしてケースなどに  
大変身!!

